

## 2024年12月 浜松聖書集会のご案内

(時間：午前10時～正午)

- 12月 1日 (日) 集会 (クリエート浜松 22号室)  
司会：生江 扶左子 感話：笹井 あかね  
聖書講話：ミカ書 6章1～8節  
「主の求められるものは何か」 水戸 潔
- 12月 8日 (日) 集会 (アクト研修交流センター36セミナー室)  
司会：溝口 春江 感話：武井 、めぐみ  
聖書講話：マタイによる福音書12章43～46節  
「南原繁2つの戦い(その2)ー東西冷戦とサンフランシスコ条約」 永井 徹
- 12月22日 (日) クリスマス集会 (アクト研修交流センター36セミナー室)  
司会：水戸 潔 10時～13時半まで  
・聖書講話：ヨハネによる福音書 1章  
「闇は光に勝たなかった」 武井 陽一  
・感話会(一人3分程度) 愛餐会  
当日、お弁当、お菓子を用意しますので、出席者は武井まで申込み下さい。  
食事代 800円(予定)。

・・・・通 信・・・・

○ 12月29日 (日)、集会は休みとします。

○ 2025年の聖書集会当番について

別紙の通り案を作成しました。ご覧になって自分の担当で都合が悪いところや負担がありましたら、武井まで お知らせ下さい。

**神の国** (クリスマス講演 2004年12月 静岡地区聖書集会主催) 溝口 正

宇宙万物を創造し歴史を支配したもう天の父なる神が、2千年前も前の大昔、人類の罪を見るに見かねて、独り子なるイエス・キリストをこの地上へお遣わしになられ、十字架の死を通して罪の贖いの業をなされたのに、人類の大半はその救いを真に受けようとしません。知らない者も多くいますが、知って信じる者は少ないのです。

さらに問題なのは、キリストを信じると告白しつつ、主の教えに従わない者があり、さらに信仰と服従とを個人道徳と国家道徳では違うとして、神学的に両者を区別し、国家の政治的問題においては公然と主の教えを拒否して罪を犯す者もいます。しかしヨハネ福音書には、「その光は、まことの光で、世に来てすべての人を照らすのである」(1・9)とあります。まことの光が世に住むすべての人、社会、国家、国際関係のすべてを照らすためには、キリストの教えをその指針として実行することが求められているのではないのでしょうか。信仰のみによって救われた人は、その各自が与えられた具体的課題を担うために、主の教えを指針とする存在となるのが使命となるのだと私は思います。

(2005年1月『復活』第456号)